

区民活動支援センターだより

ぐるーばる*あい GLOBAL EYE

「ぐるーばる・あい」には、世界的な大きな視野を持って情報の発信をしようという思いが込められています。生涯学習・市民活動で活躍している人やこれから何かを始めようとする人を応援するための情報誌です。

神奈川県連合町内会自治会連絡協議会2019年度承認

何か始めたいと思ったら・・・

神奈川県区民活動支援センターへ行こう♪

区民活動支援センターでは、区民の皆さんが地域活動やボランティア活動を始めきっかけとなるような、さまざまなジャンルの講座を企画・開催しています。
これまでに講座からたくさんのグループが誕生し、区内で活躍しています！！
今回は、誕生したばかりの新しい2団体をご紹介します。

おりがみボランティアりんどう



2019年8月から9月にかけて、神奈川地区センターと区民活動支援センターが共催で、全4回の「おりがみボランティア養成講座」を開催しました。受講後は、「おりがみボランティアりんどう」として活動を開始。地区センターまつりでブースを出したり、小学校でボランティアをしたり、楽しく活動しています♪

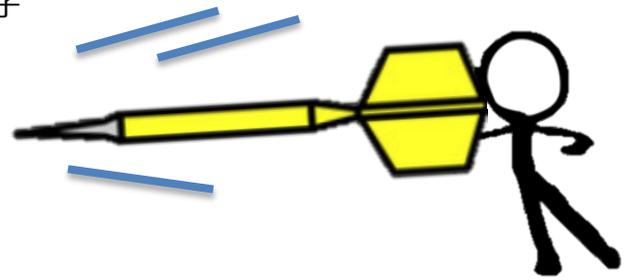
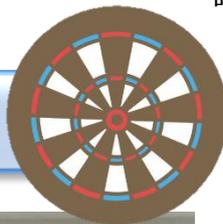


【活動日】
講習
第4火曜日10時～12時
自主練習
第1火曜日13時～16時

2019年10月
神奈川地区センターまつりにて

講習の様子

ナイスダーツ



2019年10月から12月にかけて、うらしま荘と区民活動支援センターが共催で、全6回の「プロに学ぶソフトダーツ講座」を開催しました。プロとして活躍するダーツプレイヤーの星野理絵講師に基礎から教わり、最初はダーツボードまで届かなかった方も、講座終盤ではほぼ狙ったところにダーツを投げられるまでに上達しました。(*^-へ^-*)
『何かを始めたい！』という思いで参加した16名の受講者は、ダーツというツールを使い
仲間作りの楽しさと、チームワークを育みました。
1月からは、グループ「ナイスダーツ」として自立し、目標や夢に向かってダーツを投げます♪

2019年12月 講座最終日
@老人福祉センター横浜市うらしま荘

誰も置き去りにしない！

～NPO法人フードバンク横浜の活動～

救われる側から救う側に！



本来は食べられるのに廃棄されてしまう「食品ロス」。日本のそれは年間約643万トン（平成28年度推計値農林水産省）。食べ物の「もったいない」を減らそうと、昨2019年10月1日に「食品ロス削減推進法」が施行され、同月30日を「食品ロス削減の日」と決めました。

食品ロスを解決しようと、家庭や企業で賞味期限が迫ったり余ったりした食品を持ち寄って必要とする人達に提供する取組み「フードバンク」が広がっています。



ひとり親支援イベント & 食品・食材の無償提供



海外からの留学生 6人もボランティアとして参加

毎月、神奈川県地区センターで行われている「ひとり親支援イベント & 食品・食材の無償提供」に伺いました。先着20世帯に、食品・日用雑貨品などを直接手渡し、野菜料理も提供しています。

横浜市にNPO法人フードバンク横浜（神奈川県）が誕生したのは、2016年7月。

同会は、「誰も置き去りにしない・救われる側から救う側に」を基本理念に、2015年9月の国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）に示された17の目標のうち、「貧困をなくそう」などの5項目を活動目標に掲げています。

具体的には、食品提供や各種相談を行う「ひとり親支援」を中心に、教育格差をなくす「こどもみらい塾」、「街ともさん（ホームレス）支援」などの活動に取り組んでいます。

フードバンク横浜の加藤安昭理事長（81歳）は、2011年の東日本大震災でのボランティアを機に生活困窮者などを支援する道に邁進することになりました。

「東日本大震災当時、私は会社を営んでいたのですが、従業員のひとりから誘われて、被災地で初めてボランティア活動をしました。それまでボランティアには興味はありませんでしたが、多くの被災者との交流の中でその重要性に目覚めました。娘の住む横浜市にはフードバンクが存在していないことを知り、神奈川県を拠点にフードバンク横浜を立ち上げました」

フードバンク横浜の事務所には毎日、食品が届きます。この4年の活動を通して、加藤理事長は、「横浜の住民はあたたかいと思います。これからも活動範囲を横浜市に限定し、貧困をなくすというテーマをもって活動していきます」と力を込めました。



インタビューを受けるフードバンク横浜の加藤安昭理事長

イベント会場には、支援を受けていた母子が自活し、いまはボランティアとして活動する姿がありました。フードバンク横浜の支援の輪が広がっています。



NPO法人フードバンク横浜

〒221-0052 横浜市神奈川区栄町16番1号アミティ横浜304号室

Tel/FAX = 045-512-4965 メール = thanks@fbyokohama.jp



区民活動支援センターからの報告

2019年11月3日（日）に『かながわ湊フェスタ2019～神奈川県区民活動支援センター活動PR展～』を開催しました。令和元年からリニューアルされた湊フェスタは、場所を神奈川公会堂へと移し、参加いただいたのは区民活動支援センターに登録している市民活動や生涯学習に力をそそぐ人たちです。

ステージでは20団体が出演し、体験・ワークショップ等では37団体が出展。日頃の成果を披露し、活動の周知・PRに盛り上がった1日になりました。湊フェスタ成功への鍵は準備から当日まで活躍いただいた各団体より構成された実行委員の皆さんの存在でした。

ご来場いただいた方、また残念ながら参加できなかった方も、来年度さらにパワーアップする湊フェスタにご期待ください！



かながわ湊フェスタ2019

見る！聞く！体験する！みんなの市民活動大博覧会



実行委員の皆さん

～みんなの感想～

参加団体より

- ・ステージでの演奏は貴重な経験だと思った。
- ・他の団体の発表を見るのも楽しかった。
- ・自分達の活動をアピールすることができた。

来場者より

- ・地域の活動を知りきっかけになった。
- ・バラエティに富んでいて楽しかった。
- ・子どもから高齢者までみんなが参加できて良かった。

実行委員

- ・大変なこともあったけど笑顔と元気がもらえて、すごく良かった！
- ・たくさんの団体に参加してもらえて良かった。



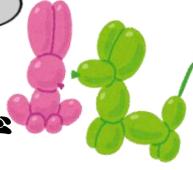
登録団体からのお知らせ



絞って 捻って 笑顔を創出

バルンアートグループ

タートル・ぐらんぱ〜ず



旗揚げから3年目。子どもたちの「ありがとう！」の言葉と笑顔に元気づけられ、楽しく活動中です。

現在、男性4名、女性2名の計6名で、地域や子供会、公共施設等のイベントに、月2回程度参加しています。

バルーンが割れない方法、こっそり教えます!!

興味のある方、私達と一緒に活動しませんか。

現在、多くのイベントに参加するため、男女問わず部員を募集しています。

【練習場所】うらしま荘（神奈川県図書館2F）

【練習日】毎週土曜日 午前中

【会費】年1,000円

【連絡先】090-3538-6891(代表 姫野和義)

e-mail:pwfdq013@ybb.ne.jp

◎見学は自由ですが、事前にご連絡ください。

NPO法人神奈川県いまむかしガイドの会

神奈川県歴史散歩令和2年3月ガイドのご案内

・3月7日(土)浅間町・保土ヶ谷宿コース

集合：9:00横浜駅西口高島屋玄関前

解散：12:30JR保土ヶ谷駅

・3月18日(水)ゆっくり中華街コース

集合：10:00日本大通り駅

解散：12:30媽祖廟

申込は①はがき②FAX③HPから

【申込み先】

①〒221-0802神奈川県六角橋1-10-11
すぱーすろっかく内

「NPO法人神奈川県いまむかしガイドの会」宛

②FAX 045-401-8320

③ 神奈川県いまむかしガイドの会

【参加費】500円

新しい仲間が
ふえました♪

新規登録団体のご紹介



昭和歌謡名曲愛好会

60代以上のシニア層を中心に
区民の昭和歌謡を楽しむ会

お母さん大学横浜かながわ

孤育てをなくすための新聞活動
お母さん達の学びと交流の場作り

Tierコンサルティング横浜

飼育動物に関する知見を高める

よこはま傾聴ボランティア 「とも」

傾聴ボランティア



～開館時間～

月曜日から金曜日
(土・日・祝日、年末年始は休館)
午前8時45分から午後5時まで

～アクセス～

反町駅(東急) 徒歩約7分
東神奈川駅(JR) 徒歩約7分
仲木戸駅(京急) 徒歩約9分
市バス「ニッ谷町」バス停 徒歩約3分

発行: 神奈川県区民活動支援センター
〒221-0824

神奈川県横浜市神奈川区広台太田町3-8

神奈川県総合庁舎本館5階 507窓口

☎:045-411-7089 ☎:045-323-2502

✉:kg-shiencenter@city.yokohama.jp

担当:山下・黄・山田・櫻井

【ぐるーばる・あいほVOICE神奈川さんにより音声録音されています。

CDの貸出をご希望の方は区民活動支援センターまで。また区民活動支援センターにて聞くこともできます。】